

こっこめ通信 09 2025

「夏の行事は大盛況」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

台風の接近で始まった8月でしたが、その後は大きく崩れることもなく、天気の良い日が多かったです。ただ島が黒潮の内側に入っていたため水温が低く、海を楽しみに来た方には、残念だったかもしれません。

さて今回は、夏休みに開催した「潮だまり探検隊」「子供クラフト教室（2回）」「植物公園ナイトウォーク」「大人クラフト『押し花アート』」の5つの行事の様子を紹介します。

潮だまり探検隊

今年は8月8日に垂戸海岸で実施し、島内外から18名が参加しました。潮の引き具合や、ほどよい風等、良い気象条件に恵まれ、絶好の行事日和となりました。

はじめに、潮だまりでの採集に関する諸注意を伝え、どんな生きものが見られるのか、探すポイントや触ってはいけない危険な種類について、写真を使って説明しました。その後、各自が道具を手にいよいよ採集をスタートしました。

水際の石をひっくり返して隠れている生きものを探したり、深めの潮だまりをのぞいたり、参加者は思い思いに採集を進めました。場所を移動しながら探す子もいれば、同じ場所でじっくり探す子もいて、それぞれのスタイルで時間いっぱい活動していました。また、島外から参加した子は、危険な種類の説明を聞いて、最初は怖がる様子を見せましたが、家族と一緒にケースに入れられた生きものを見ながら、次第に楽しんでいました。

採集後は全員で集まり、捕まえた生きものを観察しました。写真にあるように、オニベラやアイゴなどの魚類、イモガイヨコバサミやテッポウエビといった甲殻類、クモヒトデやウニなどの棘皮動物、ウミウシなど、多彩な種類が見られました。子どもたちがたくさん採集してくれたおかげで、豊富な種類を皆で観察し、今回確認できた生きものを共有することができました。

観察のあとは、展示水槽に入れる生きものを選び、残りは海へ戻して終了しました。最初は怖がっていた子も最後には少し離れた場所から興味深そうに観察しており、参加者にとって楽しく印象深い夏の思い出となりました。(K.T.)



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

子供クラフト教室開催！

夏休み終盤に毎年開催している子供クラフト教室は、スタッフがゴールデンウィーク明けから、子供たちに楽しんでもらおうと、いろいろと考え、準備して実施しています。今年は以下のプログラムで開催しました。

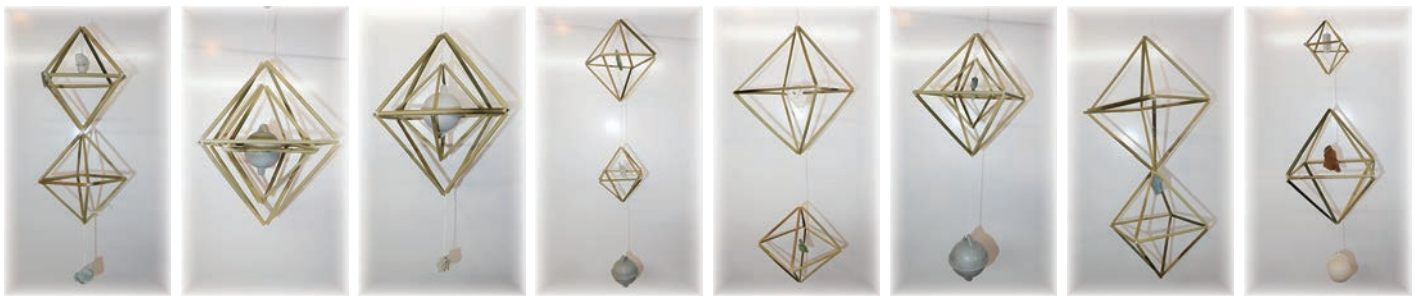
【メダケでヒンメリを作ろう】

夏休みの小学生を対象とした子供クラフト。1回目は「ヒンメリ」という麦わらを幾何学形態に組んだ、北欧の伝統的な装飾を、園内に蔓延る若くて細いメダケで作りました。最後に漂着物で飾り付けも行い、八丈島の自然素材に触れつつ、正八面体を作ることで数学的な学びも得る、という主旨で企画開催しました。

当日の体調不良によるキャンセルのため、低学年5名、高学年3名の8名で催行しました。

切り出してからしばらく経ったメダケは硬くて子供たちの力で切るのは難しく、必要分を切り揃えるのに時間がかかってしまいました。特に低学年はそれだけでお疲れ模様でした。また正八面体を組む作業も、高学年でもはじめてだとなかなか難しく、スタッフが手取り足取りお手伝いする場面もあり、保護者の方々にもたくさん協力していただきました。

なんとか出来上がった「ヒンメリ」の面白さや可愛さに、みなさん満足されていたので、今後は小学生の力量を考え手数を減らし、楽しく取り組めるようなイベントにしたいです。(A.G)



【ペットボトルで竜巻を作ろう】

子供クラフト2回目は昨年に引き続き実験クラフトを実施し、5名の参加がありました。冒頭で、①ペットボトルの中身と素材の関係や強度の違い、②竜巻とはどのような現象なのか、を簡単にレクチャーしました。

実際のクラフトでは、まずペットボトルを立てる土台を作り、接合に使うボトルの蓋の穴を広げる作業の後、2本のペットボトルを繋げました。水を入れた片方を振り動かすと、くるくると水が渦を巻きながら流れ落ち見事な竜巻が現れ、子どもたちは歓声をあげ、繰り返し挑戦しました。何度も繰り返すうち、2つの蓋の接着が外れて水がこぼれる場面が！これは、炭酸飲料の蓋は固く穴を開けにくいいため、お茶等の柔らかい素材の蓋を使ったための強度不足が原因かと思われます。強度と安全性の確保が重要であることを再確認しました。

またオプションとして、水の中にビーズを入れて渦に舞う様子を観察したり、より大きなペットボトルを使って迫力ある竜巻を作ったりする実験も行いました。付き添いの親御さんも一緒になって楽しみ、世代を超えて共有できるクラフトとなりました。最後のまとめでは「家でもやってみたい」「自然現象が机の上で起こっているのが面白い」という声があり、遊びと学びをつなぐ場として一定の成果があったと感じています。(R.T.)



植物公園ナイトウォーク

夜に活動する生きものと星空と一緒に楽しむ「植物公園ナイトウォーク」を8月3日と17日の2回開催しました。両日共にキャンセル待ちが出るほどの大盛況で、3日は17名、17日は18名で実施しています。

3日は雲が多く星空が楽しめませんでしたが、自然発生したヤコウタケが1本見られ、小さいながらも強い光を放つ光るキノコに見とれてしまいました。17日は雲は少なく、夏の大三角形や天の川、南斗六星、いるか座など夏の星を楽しむことができました。実は両日共に、行事開催の1時間前まで雲ひとつない空だったので、満天の星空を期待したのですが残念でした。

ライトトラップも設置し虫を誘ったのですが、アオドウガネばかりでした。来年は満天の星空を期待したいです。(H.T.)



大人クラフト「押し花アート」

先月に引き続き、室内開催となった八丈学講座。8月23日に参加7名で行いました。

押し花アートを企画した数ヶ月前は、こんなにも暑く、雨が降らない夏になるとは思っていませんでした。その影響なのか例年園内で見られる夏の花が少ないのです。パッと集めて押し花を作ってしまうと、準備は簡単！と思っていたのに、押し花の準備だけで1ヶ月近くかかってしまいました。

苦勞して迎えた当日、参加された皆さんの真剣に取り組みながらも、とても楽しそうに押し花アートに勤しまれている姿や顔を拝見して、私たちまで楽しくなりました。苦勞して素材を集めた甲斐がありました。

年末年始と同じくらい忙しい島の夏に時間を割いてご参加いただいた皆様、ありがとうございました。また皆さんが楽しめるクラフト行事を企画しますので、お楽しみに！ (M.K.)



八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、ナイトウォークのライトトラップに来た「ツノトンボ」にスポットを当ててみたいと思います。



ツノトンボ

Ascalohybris subjacens

脈翅目ツノトンボ科 Ascalohybris 属。

トンボと名前が付いていますが、トンボの仲間ではなく、ウスバカゲロウなどの仲間になります。特徴は大きな眼と長い触角、体の大きさは5cmほどです。卵はイネ科の茎に産み、幼虫はアリジゴクのような姿をしています。日中はあまり目にすることはありませんが、外灯などの明かりの下で見ることがあります。(H.T.)

2025
09ハチビジターセンター
プログラムカレンダー日付の下に書かれている時刻は、ハチ島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 ガイドウォーク
	04:57 20:52	06:39 15:53	08:02 16:06 21:21	01:28 08:56 16:23 21:44	02:35 09:38 16:43 22:09	03:26 10:15 17:05 22:37
白露 7 ガイドウォーク	○ 8	9	10	11	12	13 ガイドウォーク
04:12 17:28 10:51 23:07	04:58 17:52 11:26 23:40	05:45 18:15 12:00	06:32 18:38 00:15 12:33	07:21 19:01 00:53 13:04	08:14 19:22 01:34 13:32	09:19 19:43 02:20 13:56
☾ 14 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	15 ガイドウォーク	16	17	18	19	20 ガイドウォーク
11:07 20:03 03:18 14:06	20:15 04:39	15:55 23:50 06:28 21:20	16:02 08:01 21:29	01:59 16:18 09:00 21:52	03:03 16:36 09:43 22:15	03:51 16:53 10:17 22:40
21 ガイドウォーク	● 22	秋分 23 ガイドウォーク	24	25	26	27 ガイドウォーク ハ文学講座「渡って来た鳥を探そう」
04:32 17:08 10:47 23:04	05:10 17:24 11:15 23:28	05:46 17:41 11:42 23:54	06:21 17:59 12:08	06:57 18:18 00:22 12:34	07:34 18:38 00:52 12:59	08:15 18:58 01:24 13:23
28 ガイドウォーク	29	☾ 30				この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります
09:05 19:16 02:00 13:44	10:27 19:32 02:45 14:00	03:50 19:40				

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
9 / 14 (13:30 ~ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

ハ文学講座
「渡って来た鳥を探そう」

毎月行っているハ文学講座。渡りの途中に立ち寄る鳥たちをみんなで探しましょう！
9 / 27 (13:30 ~ 約1時間半)
中学生以上 現地集合・解散 (鳥の渡りの状況で決定) 参加費：50円 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日祝日及び休日、(10:30 ~ 約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00 ~ ハチ・海・生きものたち

11:00 ~ おじゃりやれ ハチ島

14:00 ~ おじゃりやれ ハチ島

15:00 ~ おじゃりやれ ハチ島

16:00 ~ ハチ・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都ハチビジターセンター 2025.9.1 第292号

開館時間 9:00 ~ 16:45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都ハチ島ハチ町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

今年はキャンセル待ちも受け付け、申し込まれた方への参加確認も行いました。その甲斐あって、たくさんの方にイベントを楽しんでもらえました。来年は、内容的に似ている夜の行事は1つしか参加できない仕組みにし、さらに多くの方を楽しんでもらいたいと思います。(H.T.)